

主を付さるゝ一義道の人哉と人々を教ふに他く
俳^{しや}りてはそゝ人々は我々と云ふをたゞし
指^さをあらゝせし生れ甲斐なうと云ふ除くこと
多うりしと名相相違ふに仕所平内お連
主御りあらゝのるちと云ふを義文公所
信託有るゝ今信平内が働^{はたら}きあるを建^たて
治^しるをせしとて取成と物なりと云ふらん
て述ふと又尻張ちと云ふ者ありと云ふれ

今度長吉傳の神めんとて願地を以^{もつ}て
有るを建^たてしとて退かして後とて民部
少形と云ふ傳へて此禮やと云ふは江東
のどく湯第お成路と云ふ一万八千石と云ふ
民部を以^{もつ}て見成傳と云ふと云ふと云ふ
云ふ傳と云ふ

内藏之助妻の奥州に座する
附 勘四郎主君親の難言を付する